

奥春別シニアクラブを訪問 (生活支援体制整備事業)

令和7年11月に開催した、作業療法士で地域づくりコーチ・アドバイザーの堀江勇夢さんによる研修会「リハ職が地域に飛び出してみたら『暮らしの豊かさ』が見えてきた!」を踏まえ奥春別地区を訪問。奥春別の皆さんの持つ力や、つながりの豊かさを教えていただきました。



講師の堀江さん

～奥春別地区の底力～

老人会が暮を閉じて数年。今は形を変え新しい『つながり』となっている奥春別地区に集まる自然な笑顔と、持続可能な『つながり』を教えてください。現在町内でフォトグラファーとして活躍している元協力隊員の高橋志学さんと茶話会にお邪魔しました。

「みんなで楽しくやりたい」と話す奥春別シニアクラブの代表。野菜を作っている方が多く、自宅で食べきれない野菜を「取りにおいで」と電話をすると取りに来てくれる『お互い様』の関係性や、地区が違ってもいきいき百歳体操やふまねっと運動の参加を通じて受け入れてくれる包容力、「車に乗れなくなったらどうしようか」とお互いの気にかけて合いがあるようです。

奥春別地区の強さの一つには、入植時の団体移住という歴史的なつながりがあり、その絆は現在も健在です。特に、大きな野菜畑を切り盛りし、美味しい料理と知恵を教えてください。80代の先輩は、まさに「地域の母」。「この人の言うことはみんな聞いちゃう」と代表が笑顔で語るように、尊敬できる人生の先輩が中心となり、みんなで野菜や料理を「たかる(いただく)」という、支援する側・される側ではない『お互い様』のつながりがあります。

おいしいものを食べ、時には「あの時大変だったよね～」と懐かしい苦労を共有する。この場が持つ力強く優しい雰囲気は、世代を超えたつながりを生んでいます。

若い世代も快く受け入れてくださるとのこと。先輩から暮らしの知恵を学び、先輩世代が若者からエネルギーをもらう。一人ひとりが地域の中で活躍できる役割を持っていることを教えていただきました。

皆さんの地域で、実はあたりまえに続いている地域の力や、魅力を教えていただけると嬉しいです。多世代の交流・地域づくりについてお話をしてみませんか？



茶話会前のいきいき百歳体操



自家栽培の野菜と手作り料理



高橋さんと奥春別シニアクラブの皆さん



挨拶をするシニアクラブ代表

問い合わせ先／役場福祉課地域包括支援係 ☎ 4 8 2 - 2 9 2 1 (課直通)

『令和6年能登半島地震』 災害義援金の受付について



町では、令和9年3月31日(木)まで期間を延長し、被災された方々のために義援金の受付をしています。

令和8年2月末現在、276,667円の義援金を受付しました。皆さまの温かいご支援に感謝申し上げます。

問い合わせ先／役場福祉課地域福祉係 ☎ 4 8 2 - 2 9 2 1 (課直通) まで

福祉にまつわる講話を開催しました!

【自分を大切にするための講話(家族介護教室)】

令和7年11月16日

地域交流ホールてしかがで、家族を介護している方や専門職の方を対象に、北海道医療大学の石垣靖子名誉教授を講師に迎え、「人生の主人公のあなたを、大切に歳を重ねても自分らしく生きるために」というテーマで講話を開催しました。

本講話では、「人生のさいごまで、認知症があっても年齢を重ねても『あなたは、あなた』として尊重されること」、「幸せな老後を生きるためには、社会的つながり・自助・互助能力を取り戻し、支える専門職の役割が重要であること」、「人間を看ようとしなければ日常業務が生活支援の目標になってしまうからこそ、人間尊重の医療・ケアがますます大事な時代になってきていること」などを学びました。

講話の結びには、「その人の人生はその人しか生きられない。」「You matter because you are you : あなたは、あなただから大事なのです(シシリー・ソンドース)」という素敵な言葉も教えていただきました。



講話を行う石垣名誉教授

【認知症ミニ講話(認知症総合支援事業)】

令和8年2月19日

川湯農村センターで地域の方を対象に、川湯の森病院武井みずほ院長による「認知症の方とのコミュニケーション」をテーマにしたミニ講話を開催しました。

認知症の方の「なぜだろう?」と感じる言葉や行動にはそれぞれの意味があることや、実際に武井院長が経験した患者さんとのやりとりや子育ての視点から、認知症の方には物忘れ以外にも多くの特徴が



武井院長によるミニ講話の様子

あり、共感力(察する力、感じる力)が本能的に鋭くなることを教わりました。また、「してあげる・してもらう」の代わりに「ともに歩む・ともに成長する」という意識を持つことの大切さも学びました。当日参加できなかった介護者からの質問にも事例を挙げアドバイスしていただき、参加者は何度も大きくうなずきながら、真剣な様子で講話を聴いていました。

問い合わせ先／役場福祉課地域包括支援係 ☎ 4 8 2 - 2 9 2 1 (課直通)